

## 日本初、携帯電話で受講可能な通信教育システム 東洋大学通信教育課程「メディア授業」

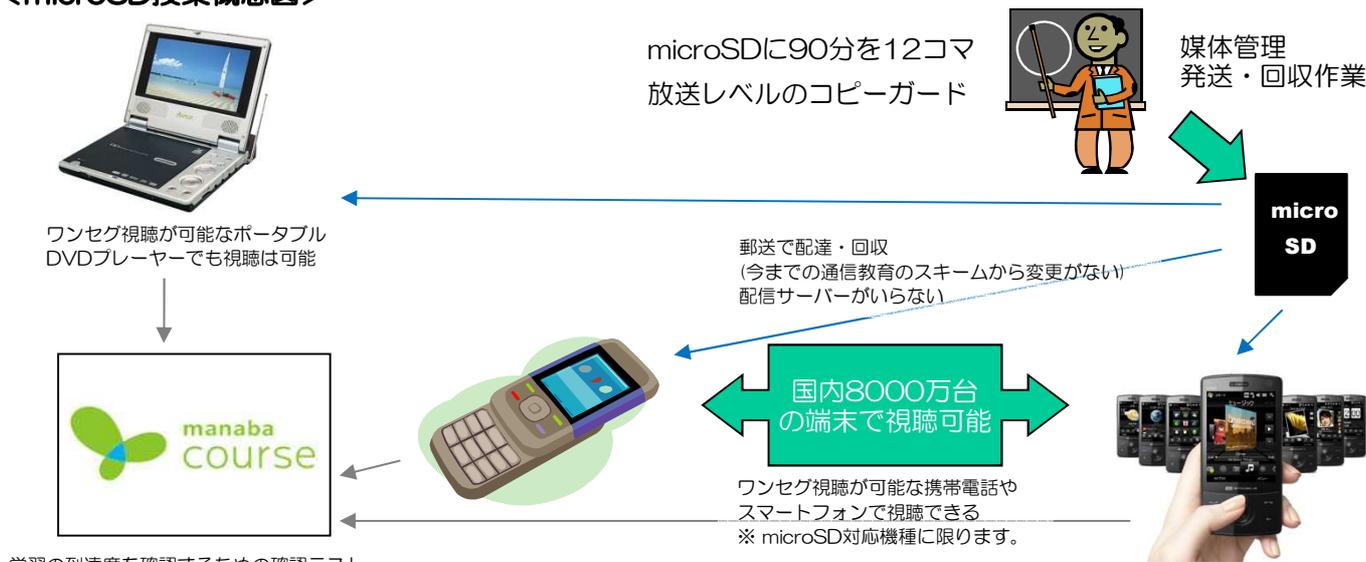
2013年度4月生の出願受付開始

<http://www.toyo.ac.jp/tsukyo/>

東洋大学（文京区白山／学長・竹村牧男）の通信教育課程が、2013年度4月生の出願受付を開始いたしました。本通信教育課程では、日本の大学で初めてとなるmicroSDを用いた「メディア授業」を導入しています。

「メディア授業」は、2012年度に創立125周年を迎える記念事業の一環として導入され、授業動画を収録したmicroSDカードを用いてワンセグ対応携帯電話などの機器で視聴し、授業を受講する、日本初のまったく新しい方式です。従来は、授業を視聴するためにインターネットの接続や視聴環境の制約がありましたが、今回採用した方式では動画コンテンツをダウンロード・ストリーミングする必要がないため、ロケーションフリーで授業を視聴できます。

### <microSD授業概念図>



学習の到達度を確認するための確認テスト・  
補助資料の格納・質疑応答などはマナバ(TOYONET-ACE)へ

### 日本人の平均通勤時間は往復79分！往復の通勤で約1コマの授業を視聴可能

本授業では、往復の通勤時間で約1コマの授業を視聴することが可能です。今回の「メディア授業」の採用により、資格取得などスキルアップを目指す社会人にとって、移動時間での学習を可能にするほか、オフィスでの昼休み、就寝前のひと時など、時間や場所を選ばずに「隙間時間」を活用して、幅広い分野での学力向上を図ることが可能です。

授業科目数は、20科目（90分授業240コマ）に対応しており、その内容は、従来の「黒板の前での授業」をイメージし「授業をありのまま届ける」をコンセプトとしているため、リアルな授業を体感いただけます。

東洋大学では、創立者井上円了の「東洋大学は余資なき、有暇なき人々のために作られた大学である」という意志を受け継ぎ、通信教育課程などを通じ、忙しい方々にも、時代のニーズに合った学びの場を提供してまいります。

## <東洋大学 通信教育課程導入について>

明治20（1887）年、明治時代の哲学者 井上円了博士が創設した「私立哲学館」が東洋大学の始まりです。その翌年、明治21（1888）年からは、仕事や居住地の関係など、いろいろな事情から大学へ入学することが難しい人々に対して「哲学館講義録」を発行し、自宅で学習できる「館外員制度」を設けました。これが今日でいう通信教育のはじまりです。

以来125年の歴史と伝統を有する総合大学として発展してまいりました。現代においても、様々な事情から大学進学を断念された方や、社会人として仕事を持ちながら大学卒の資格を取りたい、あるいは科目等履修生として教職等の資格に結び付けたい、という学習意欲を持つ方々の多様な教育のニーズに対応する学習の場を提供してまいります。

## <通信教育課程「メディア授業」科目一覧>

※下線の付いた科目は2013年度追加開講科目です。

### ■司書関連科目

生涯学習概論、図書館概論、図書館情報技術論、図書館制度・経営論、図書館サービス概論、情報サービス論、児童サービス論、図書館情報資源概論、情報資源組織論、図書館情報資源特論、図書・図書館史

### ■学校図書館司書関連科目

学校経営と学校図書館、学校図書館メディアの構成、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性

### ■共通総合科目

日本史A、日本史B、日本の詩歌A、日本の詩歌B、百人一首の文化史A、百人一首の文化史B、導入ゼミナール

### ■文学部専門科目

日本文学文化概説A、日本文学文化概説B、古典文法A、古典文法B

### ■教職に関する科目

教育心理学、生徒指導論（進路指導を含む）、国語科教育論

## <2013年度4月生の出願期間>

- ・正科生……2013年1月7日（月）～3月22日（金）
- ・科目等履修生……2013年3月1日（金）～4月10日（水）

※詳細は東洋大学通信教育課程ホームページにてご確認下さい。  
URL：<http://www.toyo.ac.jp/tsukyo/>